

杭瀬川グラウンドのフェンス修繕と環境改良

班員 草野将吾・秋本瑛斗・渡邊龍飛・鈴木光・脇田晃希・渡邊翔偉

課題研究を行う上で公共の場所として使用される杭瀬川グラウンドのフェンス修繕と環境の改良をテーマとし、球場を使用する人が気持ち良く使用できるよう研究を進めました。

調査・検討

1) グラウンド周囲のフェンス修繕

杭瀬川グラウンドは雨が降るとすぐ水に浸かってしまいグラウンド周囲のフェンスは支柱がぐちゃぐちゃに倒れていました。

2) グラウンドの環境改良

外野やフェンス周辺は雑草が無造作に生えており、とても良い環境と言えるような場所ではありませんでした。



修繕・改良

1) フェンスの修繕

- ① グラウンドを囲っているフェンスを3つに分け、それぞれの全長を測り支柱の本数、どれだけの間隔で支柱を立てればいいのかを計算しました。
- ② 支柱に沿わせて打ち込む太い鉄筋と、支柱とその支えを止めるための細い鉄筋を、使用する本数を計算した上で鉄筋の切り出し・加工を行いました。
- ③ 最初に入出口から西にのびるフェンスの修繕を行いました。はじめに基準となる支柱を立て、そこから一直線上に並ぶように太い鉄筋を手作業で打ち込んでいき、その鉄筋の前に支柱を立て、杭となる加工した細い鉄筋を打っていきました。
- ④ 次に入出口から東にのびるフェンスの修繕を行いました。この部分はフェンスのコーナーにあたる部分なので今まで立てたフェンスと目指す終点までの道のりがまっすぐになるように支柱を立てました。
- ⑤ 最後にコーナーから北にのびるフェンスの修繕を行いました。ここは3つに分けたなかで最も長い部分なので曲がってしまわないように常に進行状況を確認しながら作業を進めました。



2) 周辺環境の改良

フェンス修繕の作業を始めると同時に、修繕作業がしやすいように周辺の雑草も刈っていきました。





まとめ

自分たちは、杭瀬川グラウンドのフェンス修繕と環境の改良をテーマとし、球場を使用する人が気持ち良く使用できるように課題研究を進めました。

球場を使用する大垣市民の皆さんや、部活で使用している野球部の為になると思い、もう一度フェンスとして使えるように修繕しました。班員全員で役割を分担し、効率よく丁寧に仕事ができたとと思います。



反省

杭瀬川グラウンドは土が固く、地面の中に石がたくさんあって支柱の支えとなる太い鉄筋や、支柱を止めるための加工した細い鉄筋を打ち込むのに大変で時間がかかってしまった。グラウンドの調査が不十分であったと分かり、現場の調査は地面の中など、目で見えない所に至るまで調査をしなければならない。





感想

今回の課題研究では、現場に行って作業を行う前に支柱と太い鉄筋を固定させるために何を使うのか、支柱を止めるための杭の形状をどんな形にするのかなどを班員と考え、意見を出し合いながら課題研究を進めてきました。特に1つめのフェンスの区画が完成し、きれいに支柱が並んでいる所を見た時は達成感があり、とても感動しました。全てのフェンス修繕が終わり、完成した所を見た時には最初来た時に見た光景と見違えるようにきれいになっていて、球場を使用する人が気持ち良く使用できるよう修繕する、ということが達成できたと思います。今回の課題研究でやったことは自分たちの財産になると思います。また、これまでの活動を通して仲間との意見交流や話し合いなども社会に出て必要な力になって来るのでとても良い経験ができたと思いました。